

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 240-0025  
 住 所 横浜市保土ヶ谷区狩場町65  
 氏 名 株式会社トヨタレンタリース横浜 印  
 代表取締役 横田 昇  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社トヨタレンタリース横浜		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区貝塚1-1-3		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	70	物品賃貸業
主たる事業 の内容	自動車のレンタル		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車の台数		243 台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	管理グループ
		所在地	横浜市保土ヶ谷区狩場町65
	電話番号		045-721-6311
	FAX番号		045-721-5411
	メールアドレス		0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第3号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 977 t-CO <sub>2</sub> (調) 977	(実) 923 t-CO <sub>2</sub> (調) 923	(実) 835 t-CO <sub>2</sub> (調) 835	(実) 695 t-CO <sub>2</sub> (調) 695	(実) 938 t-CO <sub>2</sub> (調) 938
削減率		(実) 5.5 % (調) 5.5	(実) 14.5 % (調) 14.5	(実) 28.9 % (調) 28.9	(実) 4.0 % (調) 4.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガス発生抑制推進体制を整備し、効率的な自動車の運行を呼びかける一方ハイブリッド車の台数は減ったものの、貨物車が4割減少し同数低燃費の乗用車が増えたため温室効果ガスの排出を前年より5.5%抑えることができた。
第2年度	ハイブリッド車の台数は前年と同台数に留まっているが、保有車両の見直しにより温室効果ガスの排出量が減少した。
第3年度	ハイブリッド車の増車と、保有車両の見直しにより温室効果ガスの排出量が大幅に減少した。 第1期計画期間においては、走行距離を活動量とした原単位では、基準年度 0.1523、第3年度 0.1435 と5.8%改善し省エネ活動成果があった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○低公害車・低燃費車の導入</li> <li>○自動車の適正走行</li> <li>○エコドライブの促進</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 推進体制を整え、社内に取り組みについて周知させた。</li> <li>○エコドライブの促進 社内でエコ安全ドライブ研修会を開催した。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコドライブの促進 店頭エコドライブポスターを掲示し、エコドライブを呼びかけた。</li> <li>○低公害車・低燃費車の導入 低公害・低燃費車への積極的な代替促進や保有車両の見直しを行った。</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○店頭へのエコドライブポスター掲示、エコドライブセミナー開催等エコドライブの促進</li> <li>○低公害車・低燃費車の導入</li> </ul> <p>第1期計画期間では、エコドライブポスターをレンタカー店舗に掲示し利用者にエコドライブ意識を持って運転していただくよう呼びかけたり、レンタカー・リースを利用している取引先を招きエコドライブセミナーを開くなどした結果、当社内外にエコドライブ意識を高めると共に、貸し出し車両に低公害車・低燃費車を積極的に導入して、温暖化ガスの排出を減少させることに務めた。</p>



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加</li> <li>○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加 店舗カウンターに募金箱を設置し、緑の募金を募った。</li> <li>○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ エコドライブのポスターを店頭に掲示し、お客様と従業員にエコドライブを呼びかけた。</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神奈川県内の森林を守り緑化を推進する緑の募金に参加 店舗カウンターに募金箱を設置し、緑の募金を募った。</li> <li>○レンタカーご利用者へのエコドライブの呼びかけ エコドライブのポスターを店頭に掲示し、お客様と従業員にエコドライブを呼びかけた。</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○店頭へのエコドライブポスター掲示、エコドライブセミナー開催等エコドライブの促進</li> <li>○低公害車・低燃費車の導入</li> </ul> <p>第1期計画期間では、エコドライブポスターをレンタカー店舗に掲示し利用者にエコドライブ意識を持って運転していただくよう呼びかけたり、レンタカー・リースを利用している取引先を招きエコドライブセミナーを開くなどした結果、当社内外にエコドライブ意識を高めると共に、貸し出し車両に低公害車・低燃費車を積極的に導入して、温暖化ガスの排出を減少させることに務めた。</p>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

イ 第 3 号該当者等

(実)	695	t-CO <sub>2</sub>
(調)	695	

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--

## 7 自動車の使用状況一覧（第3号該当者等）

## (1) 車両の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
		台数	台数	台数	台数
総 数		335 台	339 台	286 台	243 台
内 訳	普通貨物自動車	12 台	8 台	14 台	5 台
	小型貨物自動車	48 台	27 台	25 台	30 台
	大型バス	0 台	0 台	0 台	0 台
	マイクロバス	6 台	6 台	6 台	6 台
	乗用自動車	269 台	298 台	241 台	202 台
	特種自動車	0 台	0 台	0 台	0 台

## (2) 燃料の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	最新年度
		台数	台数	台数	台数	比率
総 数		335 台	339 台	286 台	243 台	100.0 %
内 訳	電気自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	天然ガス自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	メタノール自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	ハイブリッド自動車	32 台	27 台	27 台	36 台	14.8 %
	プラグインハイブリッド自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	燃料電池自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	水素自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	ガソリン自動車 (ハイブリッド <sup>*</sup> 除く)	262 台	280 台	227 台	184 台	75.7 %
	ディーゼル自動車 (ハイブリッド <sup>*</sup> 除く)	41 台	32 台	32 台	23 台	9.5 %
	LPGガス自動車	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
	その他	0 台	0 台	0 台	0 台	- %
うち低燃費車 <sup>**</sup> の台数	32 台	27 台	27 台	36 台	14.8 %	

※ 低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。